



# 和敬会だより

第154号

発行所  
医療法人社団 和敬会  
谷野 呉山病院  
富山市北代5200  
https://www.wakeikai.com

発行人  
理事長 谷野 亮一郎



発行日 令和8年2月1日

ワケちゃんのLINEスタンプが  
できました!



「っていうワケです」↑  
も含め、全16種類のスタンプを  
ご購入いただけます。

ご購入はこちらから



## 医療法人社団和敬会

### 基本理念

「希望に満ちた人生の回復を目指して 私たちはあなたと共にある」

### 基本方針

- ・専門職がチームで関わり、あなたの価値観を大切に医療を提供します。
  - ・常に研鑽に努め、安全で質の高い医療を提供します。
  - ・広く情報公開に努め、あなたと共に考える医療を提供します。
  - ・精神科救急体制の充実や社会資源との連携を図り、地域に根ざした医療を提供します。
  - ・環境に配慮し、地球にやさしい医療を提供します。
  - ・精神疾患に対する偏見の払拭、権利擁護に努め、あなたが自らの強みを発揮できる社会づくりを推進します。
  - ・人材育成に努め、当院に勤務する職員が自らの強みを発揮できる職場づくりを推進します。
- 私たちは基本理念を胸に抱き、健全な病院経営の下で以上の基本方針を実践します。

谷野呉山病院 Web サイト

和敬会だよりの  
過去号も掲載し  
ています。



谷野医院 web サイト

リニューアル  
しました!  
ご覧ください。



## 『新たな地域医療構想』

理事長・院長 谷野 亮一郎

広報紙の発行時期の都合（こちらの都合）で遅くなってしまいましたが、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

さて、皆様ご存じの通り、我が国には2回のベビーブームがありました。第一次ベビーブームは1947年から1949年で、この間、毎年250万人以上の赤ちゃんが生まれました。大きな塊、「団塊の世代」と言われる世代です。そして第二次ベビーブームは1971年から1974年です。この間、毎年200万人以上の赤ちゃんが生まれました。「団塊ジュニア」と呼ばれる世代で、私も含まれます（ちなみに2024年に生まれた赤ちゃんの数は70万人を割り込みました。2025年は2024年を更に下回る見込みです・・・）。



これまで我が国は「団塊の世代」が75歳以上となる2025年を見据え、医療の在り方を検討してきました。それが「地域医療構想」です。気づいたら2025年が過ぎちゃいました（笑）。これからは私を含む「団塊ジュニア」が65歳以上となる2040年を見据え、病院のみならず、かかりつけ医や在宅医療、医療と介護との連携などを含め検討することになりました。それが「新たな地域医療構想」です。

実は、精神医療は「地域医療構想」では蚊帳の外だったのです。それが2025年12月に成立した「医療法等の一部を改正する法律」により、「新たな地域医療構想」ではいよいよ精神医療も検討のテーブルに乗り、必要病床数や機能分化が話し合われることになりました。他にも医療に関することでは外来医師過多区域への規制や、保健医療機関の管理者の要件化、電子カルテの普及目標（2030年末までに普及率約100%達成）、美容医療を行う医療機関に対する定期的な報告義務などなど。

「新たな地域医療構想」では、すべての医療機関がこれまで以上に「地域での役割」を問われることとなります。当法人としましては、2040年と言わず、5年後、10年後を見据え、地域のニーズに応えられるよう尽力してまいります。

末筆ではございますが、新しい年が皆様にとりまして幸多き年となりますように。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

## ユニフォームのデザインを一新しました

令和7年11月から、ユニフォームのデザインを5年ぶりに一新しました。

看護部では、看護師・准看護師は胸元にラインが入ったデザインとなり、各職員が3つのカラーバリエーションから性別問わず選んで着用しています。看護補助者はブルーにイメチェンし、パンツも他職種と同じネイビーに統一されました。

放射線技師・臨床検査技師は、落ち着いた色合いのライトグリーンです。

栄養課では、管理栄養士が淡いベージュになり、調理師・調理員は白一色から、上下でツートンカラーになりました。

全体的にソフトな色合いで、患者さまにも柔らかな印象をもってもらえるといいと思います。



## 第44回院内学会を開催しました

令和7年11月3日に第44回院内学会を開催しました。今回も会場とZOOMを合わせ大変多くの参加を頂きました。

各部署からの発表論文の内容は、普段知ることが少ない興味深いものであり、改めて院内学会開催の意義を感じることができました。院内でともに働く仲間ではありますが、同じ職種として共感できることや他職種の取り組みと苦悩を知ることでもできました。その一方で、もう少し質疑応答が活発であれば良かったとの意見もあり、今後に活かしていきたいと思えます。

最後に、学会開催にご協力頂いた皆様、ありがとうございました。

第44回院内学会実行委員会



研究発表、質疑応答の様子



寶田 茂景 (クライシスケア病棟)	患者の暴力防止に向けた前兆行動の把握と看護師の対処行動
松下 人美 (33病棟)	看護師としてのジレンマ
渡辺 明日香 (メンタルケア病棟)	作業療法を拒否する患者へのアプローチ
村上 聡 (デイケアのぞみ)	利用者の社会生活を継続するために -DCにおけるスタッフの役割を考える-
小田 良光 (谷野医院)	うつリワークデイケア「模擬社会プログラム」の取り組み
◎関 芙美 (コ・メディカル課)	スリー・ステップス・モデルを用いたリワークプログラムの取り組み -ワークシートの作成と活用-
高平 真宏 (3A病棟)	看護師の腰痛対策としてのヨガの導入とその有効性の検証
池田 莉里 (ストレスケア病棟)	精神科看護師による地域移行支援の実際 -患者の不安への対応を通して-
◎宮前 由佳 (コ・メディカル課)	地域移行機能強化病棟の取り組み
高木 佳文 (経理課)	近年の医療業界を取り巻くコスト問題について
北川 祐一 (医局)	新型コロナウイルス感染症に伴う好中球減少症から回復後に、電気けいれん療法を併用しながらクロザピンを投与した一例

(◎は優秀論文賞)

## 高校1年生フィールドスタディ

今年も滑川高校と富山いずみ高校の1年生が「フィールドスタディ」に参加しました。

看護師や精神保健福祉士、作業療法士や管理栄養士など様々な職種から仕事内容を説明したり、学生と机を囲み色々な質問に答えたりしました。この中から、将来当院の門をたたく新社会人が生まれるかも？



## ウェブサイトリニューアル

谷野医院と脳と心の総合健康センターのウェブサイトをリニューアルしました。

見やすさや親しみやすさを意識したデザインのほか、谷野医院ではスムーズな初診対応のためにウェブサイト上での問診票入力に対応しました。



### 各種表彰

#### 日本精神保健福祉連盟会長表彰

石倉 直美 (精神保健福祉士)

#### 富山県精神保健福祉大会長表彰(15年勤続)

岡田 美紀 (看護師)

川村 未奈 (看護師)

野崎 誉 (看護師)

#### 富山県医師会医療従事者表彰(10年勤続)

若狭 亜耶 (調理師)

山本 恵 (事務員)

石橋 良美 (看護師)

酒井 麗子 (薬剤補助)

高瀬 由 (看護師)

館盛 千花 (看護師)

永井 怜実 (看護補助者)

朴木 智子 (事務員)

#### 和敬会永年勤続者表彰

##### 20年表彰

川田 早苗 (精神保健福祉士)

岩城 佑輔 (看護師)

中島 健一 (精神保健福祉士)

橋本 安都 (看護師)

藤井 千恵子 (准看護師)

##### 15年表彰

岡田 美紀 (看護師)

川村 未奈 (看護師)

野崎 誉 (看護師)

##### 10年表彰

高瀬 由 (看護師)

館盛 千花 (看護師)

永井 怜実 (看護補助者)

朴木 智子 (事務員)

渡邊 千里 (看護師)

荒井 淳子 (看護師)

#### 20歳のお祝い

櫻井 聖悟 (調理員)

渡邊 徳子 (看護補助者)

みなさん、  
おめでとう  
ございます!



### 永年勤続表彰者



### 法人の動き

月	日	事項
11	3	第44回院内学会
11	19 ~	秋期職員検診
11	28	健康課実地審査・実地指導
12	4・11	高校1年生フィールドスタディ
12	10	職員総会
12	29	創立記念式典・仕事納め式
1	5	仕事始め式
1	23	指定障害福祉サービス事業者運営指導
1	30	谷野医院・富山市保健所立入検査

紙面に掲載されている患者さまの写真につきましては、掲載に際して、ご本人または保護者のご了承を頂いております。

### 編集後記

新年を迎えて発行する今回、ワケちゃんLINEスタンプ誕生やユニフォーム一新・ウェブサイトリニューアルなど「新」がづくような話題が並びました。とかく暗くながちなご時世ですが、紙面にて少しでも明るさを感じていただければ幸いです。

(志)